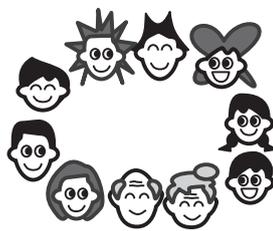


津谷歯科医院 口腔ケア新聞

NPO法人
訪問歯科診療
を広める会
賛助会員

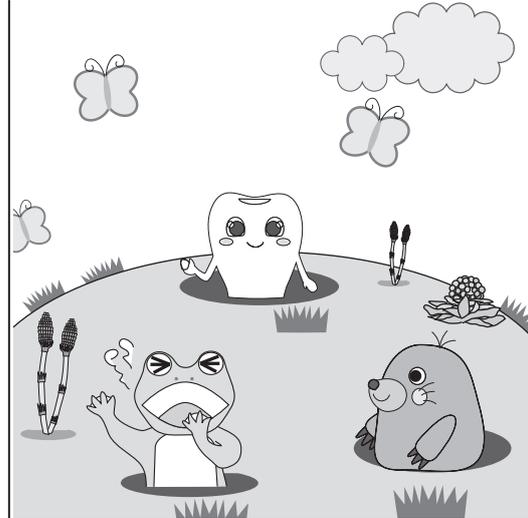


令和7年3月号
発行人 津谷歯科医院
院長 津谷良
住所 岡山市中区海吉1807-14
紙面に関するお問い合わせは下記まで
電話：0120-779-418
配信代行：訪問歯科診療を広める会

皆さん、こんにちは！いかがお過ごしですか？

津谷歯科医院、院長の津谷良です。

口腔機能の役割は多様であり、①噛む・飲み込むといった消化器系機能、②味わうといった脳神経系機能、③笑顔や言語コミュニケーションの円滑化といった社会的機能、④誤嚥性肺炎や窒息予防に向けた呼吸器系機能等があり、高齢期では、特に口腔機能をしっかりと維持することが大変重要になります。大規模調査では、口腔機能が低下している場合、5年後の要介護認定は2.35倍、死亡リスクは2.09倍であることが明らかとなっています。口腔機能低下症は、2018年に保険収載された新しい病名ですが、調査の解析後すぐに保険収載されたことから、今後、口腔機能への介入が大きな流れとなりそうです。今月は、『口腔機能低下症の精密検査』についてご紹介します。



1. オーラルフレイルなら精密検査を！

自身でオーラルフレイルチェックリスト「OF-5」を使って自己診断をして該当している場合には歯科医院を訪れて口腔機能低下症の精密検査を受ける、という流れになります。50代の50%は口腔機能低下症です。

2. 口腔機能7項目を詳しく検査

通常、歯科医院では問診・視診の後、必要な検査を行います。「OF-5」では5項目の質問から自覚症状をチェックするものでしたが、精密検査では7項目の検査を行い、結果をすべて数値化します。3項目以上該当すると口腔機能低下症と診断します。

3. 口腔機能精密検査の項目

- (1) 口腔衛生状態不良の検査・・・口腔内細菌カウンターで舌上の細菌数を計測するか、舌苔の付着程度をスコア化して算出します。
- (2) 口腔乾燥の検査・・・口腔湿潤計という機器を使って舌上の湿潤度を計測するか、2分間の唾液分泌量を測定します。
- (3) 咬合力低下の検査・・・歯科用咬合力計で咬みしめた時の咬合力を計測します。入れ歯を使ってい

る方は装着した状態で計測します。残存歯数から判定する方法も用いられます。

- (4) 舌口唇運動機能低下の検査・・・パ・タ・カをそれぞれ5秒間で何回発音できるかを測定します。
- (5) 低舌圧の検査・・・舌圧測定器につながる舌圧プローブを舌で押しつぶす力を測定します。
- (6) 咀嚼機能低下の検査・・・計測用のグミゼリーを咀嚼して、測定器又は標本資料で計測します。高齢者の場合、誤嚥や誤飲のリスクを考慮して実施するか否かを判断します。
- (7) 嚥下機能低下の検査
質問票に回答する形式で判定し、嚥下リスクが認められる場合は必要に応じて嚥下評価を行います。

検査結果に基づいてリハビリテーションや口腔ケアの指導、必要に応じた治療が提供されます。低下している機能を維持できれば、要介護リスクや死亡リスクの低下につながります。要介護者であれば入院予防が期待でき、要介護度の悪化予防にもつながります。基本的に精密検査の数値を6ヵ月毎に確認して、適切な口腔機能管理を継続的します。

◆ 自身でオーラルフレイルチェック→歯科で「口腔機能精密検査」へ ◆

口腔ケア新聞の発行にあたって  ここ数年、外来患者さんやそのご家族から訪問診療のお問い合わせやご依頼を受けるケースがとて増えました。小さなご病気されてしまったことがキッカケで、寝たきりになってしまわれたりして、「いつもお元気でいいですね。」って話をしていたのに・・・そんなことが続いたので、これは本格的に訪問診療に取り組まなければいけないかなって、強く思うようになりました。

そこで取り組みの一環として、要介護者の歯と口に関する情報を地域の介護に携わっている方にお届けしようと考え、口腔ケア新聞を毎月1回発行しています。

津谷歯科医院

- 診療時間 9:00~12:30/14:00~18:30
(土曜日は16:30まで)
- 診療科目 歯科 小児歯科
- 休診日 木曜・日曜・祝祭日
- 院長 津谷良
- 岡山市中区海吉1807-14
- ☎ 0120-779-418 FAX 0120-779-413